

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R4年度の実績	進捗評価	課コード	担当課	R5年度の実績	進捗評価
1-1 誰もが市民活動情報にふれることができる情報の発信	(1) 市民活動情報の収集・整理	市民活動情報データベース化	市民活動にかかわる情報を収集し、データベース化する。	35	AW01010	とよた市民活動センター	活動団体の情報や市民活動情報を市民活動情報サイトに掲載	B	AW01010	とよた市民活動センター	活動団体の情報や市民活動情報を市民活動情報サイトに掲載	B
		地域資源マップ	地域に点在する集いの場の情報を集約した情報展開ツールを作成し、市民活動等のコーディネートを実施する。	35	AX06	高齢福祉課	・地域に点在する集いの場の情報を集約し、活動場所や内容を掲載したデジタルマップを作成。 ・デジタルマップを活用して、地域包括支援センターの職員等による高齢者の集いの場へのコーディネートを実施。 【コーディネート件数：22件、参加件数：7件】	B	AX06	高齢福祉課	・作成したデジタルマップを活用し、地域包括支援センターの職員等による高齢者の集いの場へのコーディネートを実施 【コーディネート件数：194件 参加件数：13件】	B
	(2) 効果的な市民活動情報の発信	広報紙「つなぐ」発行	とよた市民活動センターの広報誌を発行する。	35	AW01010	とよた市民活動センター	広報紙を年6回（3,500部/回）発行し、市民活動情報やセンター事業情報を発信	B	AW01010	とよた市民活動センター	広報紙を年6回（3,500部/回）発行し、市民活動情報やセンター事業情報を発信	B
		市民活動情報サイトによる情報発信	市民活動情報サイト（とよた市民活動センターホームページ）を見やすくリニューアルを行い、市民活動情報の掲載とプラットフォーム化を行う。	35	AW01010	とよた市民活動センター	市民活動情報サイトのリニューアルを実施し、団体検索やYouTube連携等を強化	B	AW01010	とよた市民活動センター	リニューアルした市民活動情報サイトの利活用の支援を実施	B
		スマイルゆうネット	スマイルゆうネット（トヨタグループボランティアネットワークシステム）と連携し、ボランティア情報等を発信する。	35	AW01010	とよた市民活動センター	市民活動情報サイトとスマイルゆうネットが連携し、ボランティア・イベント情報を発信	B	AW01010	とよた市民活動センター	スマイルゆうネットとの連携が昨年8月に終了したが、トヨタグループとは引き続き、情報交換を随時実施	B
		広報力向上セミナーの開催	市民活動団体を対象とした広報セミナーを開催する。	35	AW01010	とよた市民活動センター	団体活動のPR等に活用するための動画制作講座を開催	B	AW01010	とよた市民活動センター	Instagramの利活用に関する講座を開催	B
退職予定者への情報発信	企業の退職予定者説明会等を利用して市民活動情報を発信する。	35	AW01	市民活躍支援課	新型コロナウイルスの影響もあり、退職予定者向けの説明会は未開催。しかしながら、従来の入会説明会に加え、ハローワークでの出張入会説明会を毎月1回開催。 また、機関紙「シルバーとよた」の発行や、ホームページ及びFacebookをなどSNSを活用し活動情報を随時更新し情報発信に努めた。	B	AW01	市民活躍支援課	企業の退職予定者向け説明会が書面で開催されたため、説明資料を書面で送付し、情報を発信した。従来の入会説明会に加え、ハローワークでの出張入会説明会を毎月1回開催。 また、機関紙「シルバーとよた」の発行や、ホームページ及びFacebookをなどSNSを活用し活動情報を随時更新し情報発信に努めた。	B		
(1) 市民活動を体験できる機会の提供	市民活動体験事業	誰もが市民活動を知り、参加体験ができる取組を実施する。	36	AW01010	とよた市民活動センター	とよたつなぐ博（105プログラム、参加者1,679人）を開催し、市民活動を知る・体験できる場を提供	B	AW01010	とよた市民活動センター	とよたつなぐ博（21団体、58プログラム、）を開催し、市民活動を知る・体験できる場を提供	B	
	シニアアカデミー	高齢者の市民活動や生きがいをづくりを促進するための学び・相談・情報提供等の支援を実施する。	36	AW01010	とよた市民活動センター	通年コース、専門コース、はじめの一歩講座を開催し、学びをきっかけとした市民活動・地域活動の実践と活動支援を実施	B	AW01010	とよた市民活動センター	通年コース、専門コース、はじめの一歩講座を開催し、学びをきっかけとした市民活動・地域活動の実践と活動支援を実施	B	
	とよたものづくりフェスタ事業	子どもたちが様々なものづくりを体験・体感できるイベントを、ものづくり団体、大学、高校、中学校等と連携して開催する。	36	AW01030	ものづくりサポートセンター	TESフェスティバル（トヨタ技術会主催）と合同でわくわくワールドを開催。 〈リアル版〉来場者数4,000人 43団体47ブース出展 〈WEB版〉閲覧者数 19,000人 11コンテンツ	B	AW01030	ものづくりサポートセンター	TESフェスティバル（トヨタ技術会主催）と合同でわくわくワールドを開催。 〈リアル版〉来場者数14,000人 40団体45ブース出展	B	
	市民によるアートプロジェクト推進事業	市民主体の文化芸術活動・発表の場を創出し、文化芸術に関わる人材の発掘・育成を促進する。	36	AW02	文化振興課	●市民参加型のアートイベントの開催 「とよたまちなか芸術祭」/2022年10月 まちなかの10会場（豊田参合館、Hotel Aunties、T-FACE等） 市民アートプロジェクトメンバー出身のディレクター1名、アシスタントディレクター1名と公募による「とよたまちなカラボ研究生」5名を中心に、昨年度より規模を拡大したアートイベントを創り上げた（出展者数：56組、ゲスト8組/来場者数：4,483人） ●アートに触れる機会の実証（移動型拠点）を実施 「ぶらっとアートセンター」/豊田市内各所（3回・3カ所） 豊田市内の文化スポットや活動者、イベントをアートサポーターとともに訪問し、新たな交流や出会いのきっかけを創出（交流人数：150人） ●豊田独自の文化事業の集約・発信 「TAP magazine」 市民ライターとの運営体制を継続（掲載記事件数：60件、リーチ数：22,286回/市民ライター：5名） ※市民アートプロジェクトメンバー登録数（201人）	B	AW02	文化振興課	●市民参加型アートイベントの開催 「とよたまちなか芸術祭mix」/2023年11月 まちなかの4会場（豊田市職員会館、緑陰ギャラリー、喜楽亭、新とよパーク） 市民アートプロジェクトメンバー出身のディレクター1名、アシスタントディレクター1名を中心に、市民アートプロジェクトメンバー有志による市民活動団体「とよたアートパーティ」を設立しアートイベントを創り上げた（出展者数：42組、ゲスト1組/来場者数：1,072人） ●アートに触れる機会の提供 ・「こどもアート縁日」/豊田地域文化広場（来場者数：474人） 子ども向けアートイベントを開催し、来場者に活動を周知した ・交流WS（開催回数：19回、交流人数：304人） 新たな交流や出会いのきっかけを創出するためWSを開催した ●豊田独自の文化事業の集約・発信 「TAP magazine」 市民ライターとの運営体制を継続（掲載記事件数：36件、リーチ数：18,293回/市民ライター：8名） ※市民アートプロジェクトメンバー登録数（236人）	B	

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R4年度の実績	進捗評価	課コード	担当課	R5年度の実績	進捗評価
1-2 誰もが市民活動に参加できる機会の提供		日本語教育促進事業	在住外国人が地域社会で円滑な日常生活を送れるよう、必要な日本語能力を育む切れ目のない日本語学習支援施策の体系化を実施する。	36	AW09	国際まちづくり推進課	①多文化子育てサロン事業 未就園児を持つ外国につながるのある保護者等に、母語・継承語の重要性を啓発し、多言語環境で育つ子どもの特徴に関する理解を促進するためのサロンを開催 開催回数：10回 延べ参加者数：228人（うち、外国人：112人、日本人：116人） ②外国人の幼児向け日本語教育事業 外国人の幼児に対し、就学後の生活にスムーズに適應するための日本語教室を開催するとともに、保護者に対しても子どもの言語習得に関する啓発を実施 教室数：3教室 開催日数：106日 延べ参加者数：797人 ③外国人青少年健全育成事業 外国人の子どもに対し、継続して学校生活が送れるよう日本語指導を含む放課後学習支援を実施 開催日数：230日 延べ参加者数：2,548人 ④外国人の子どもの社会適応サポート事業 公立小・中学校に通っていない外国人の子どもに対し、初期日本語教室を開催 開催日数：223日 延べ参加者数：1,560人 ⑤日本語学習支援事業	B	AW09	国際まちづくり推進課	①多文化子育てサロン事業 未就園児を持つ外国につながるのある保護者等に、母語・継承語の重要性を啓発し、多言語環境で育つ子どもの特徴に関する理解を促進するためのサロンを開催 開催回数：10回 延べ参加者数：289人（うち、外国人：119人、日本人：170人） ②外国人の幼児向け日本語教育事業 外国人の幼児に対し、就学後の生活にスムーズに適應するための日本語教室を開催するとともに、保護者に対しても子どもの言語習得に関する啓発を実施 教室数：3教室 開催日数：113日 延べ参加者数：604人 ③外国人青少年学習支援事業 外国人の子どもに対し、継続して学校生活が送れるよう日本語指導を含む放課後学習支援を実施 開催日数：226日 延べ参加者数：3,746人 ④外国人の子どもの社会適応サポート事業 不就学等の外国人の子どもに対し、初期日本語教室を開催 開催日数：223日 延べ参加者数：1,151人 ⑤日本語学習支援事業 外国人住民が生活に最低限必要な日本語能力を習得するための日本語教室を開催	B
		姉妹都市交流事業	市民や学生の姉妹都市への相互派遣等により、友好親善及び異文化理解を促進する。	36	AW09	国際まちづくり推進課	①米国デトロイト市オンライン交流事業 新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止した交換学生派遣事業の代替として、豊田市内高校に通う生徒とデトロイト市の学生がオンライン交流を実施 実施回数：8回 参加者数：18人（うち、豊田市：12人、デトロイト市：6人） ②英国ダービーシャー高校生派遣事業 市内の高校または高等専門学校に通う生徒をダービーシャーのパートン・アンド・サウスダービーシャーカレッジに派遣し、現地の学生やホストファミリー等との交流を実施 派遣日数：9日間 参加者数：16人	B	AW09	国際まちづくり推進課	①米国デトロイト市交換学生派遣事業 市内在住の高校生をデトロイト市に派遣し、デトロイト市長表敬を始め現地企業や日本国総領事館等への訪問、ホストファミリーとの交流を実施 派遣日数：14日間 派遣生徒数：8人 ②英国ダービーシャー姉妹都市25周年記念事業「豊田市ジュニアマーチングバンド派遣」 豊田市ジュニアマーチングバンドに所属する学生等を英国ダービーシャーに派遣し、現地で演奏会を実施 派遣日数：7日間 派遣者数：38人 ③英国ダービーシャー高校生派遣事業 市内の高校または高等専門学校に通う生徒をダービーシャーのパートン・アンド・サウスダービーシャーカレッジに派遣し、現地の学生やホストファミリー等との交流を実施 派遣日数：10日間 参加生徒数：15人	B
(2) 社会課題に気づく場の提供		市民交流カフェの開催	世代や性別、職種などジャンルを超えた多様な価値観を持つ人が気軽に来て気軽に語り合ったり、活動者から直接話を聞ける場や、社会課題に自然と気がつく場を提供	36	AW01010	とよた市民活動センター	R5年3月に対話と共創の場を開催	B	AW01010	とよた市民活動センター	R6年6,9,3月に対話と共創の場を開催	B
		社会課題講座の開催	社会課題をテーマとした講演会や講座を開催する。	36	AW01010	とよた市民活動センター	多様な主体で構成されたワーキングで市の社会課題を題材としたSDGsカードゲーム（豊田市版）を作成	B	AW01010	とよた市民活動センター	豊田まちづくり株式会社主催のSDGsフェスタに出展し、来館者にSDGsカード（豊田市版）を通して社会課題について考える機会を創出した。	B
		女性ライフプラン・キャリア形成支援事業	結婚や出産を機に活動していない女性の就労意欲や市民活動への参画意識を醸成するための相談・セミナー・交流会を開催する。	36	AW01020	とよた男女共同参画センター	女性のためのスキル&マインドアップセミナー「エクラ」を年間30回実施し、延べ294人参加した。 主に子育て等で離職中の女性を対象に女性のための学びとつながりの場の提供、自分らしい生き方の選択をするための意識の醸成を目的に実施した。	B	AW01020	とよた男女共同参画センター	女性のためのスキル&マインドアップセミナー「élat(エクラ)」を年間25回実施し、延べ354人が参加。 様々な段階にいる女性を対象に、キャリア形成やマインドアップなどの学びと、つながりの場としての居場所提供を兼ねた講座を実施。	B
		自然観察の森を拠点とした自然環境学習事業	環境学習施設「自然観察の森」を拠点に、自然体験など自然環境に関する講座や学習を実施	36	AE01	環境政策課	自然観察の森が主催する自然体験講座を37回（420人）実施した。また市内小学校を含む団体が施設で自然環境に関する学習を280件（5,525人）実施した。	B	AE01	環境政策課	自然観察の森が主催する自然体験講座を37回（420人）実施した。また市内小学校を含む団体が施設で自然環境に関する学習を280件（5,525人）実施した。	B
		エコットを拠点とした暮らしの環境学習事業	環境学習施設「エコット」を拠点に、省エネやごみのリサイクルなど身近な生活環境に関する学習や講座を実施する。	36	AE01	環境政策課	市民に対し、エコライフ講座（ごみのリサイクルなどの身近な生活環境に関するもの）を118回実施し、1,731名が参加した。また、公共施設見学（主に小学4年生を対象とした、ごみ処理の流れについて学習するプログラム）を実施し、80校（3,885名）の生徒が参加した。	B	AE01	環境政策課	市民に対し、エコライフ講座（ごみのリサイクルなどの身近な生活環境に関するもの）を118回実施し、1,731名が参加した。また、公共施設見学（主に小学4年生を対象とした、ごみ処理の流れについて学習するプログラム）を実施し、80校（3,885名）の生徒が参加した。	B
		森林普及事業	市民の森づくりに対する理解促進のため、森林と関わりの薄い市民等に合わせた講座を開催する。	36	AG07	森林課	年間を通して全10講座（延べ17日）開催し、延べ263人が参加した。	B	AG07	森林課	年間を通して全10講座（延べ20日）開催し、延べ271人が参加した。	B
		自転車安全利用講習事業	講義・実技を交えた自転車の安全利用に関する講習を実施する。	36	AU13	交通安全防犯課	年間18回 参加人数164人（未就学児：49人、小学生：44人、保護者：71人） 親子での参加の場合、受講者（子ども）の様子を保護者が観察し、チェックシートを用いた評価を取り入れた。公道で注意すべき点が明確になり、家庭での継続的な指導に繋げることができた。	B	AU13	交通安全防犯課	年間18回 参加人数139人（未就学児：35人、小学生：35人、保護者：69人） 少人数開催により利用者の理解度や技量に応じたきめ細かい指導が実現。また、昨年度に引き続き、チェックシートを用いた評価を取り入れ、公道で注意すべき点が明確になり、家庭での継続的な指導に繋げることができた。	B
		自助意識普及啓発事業	市民の防災意識高揚と自助の取組推進のための啓発事業を実施す	36	AU14	防災対策課	・防災キャンプ実施支援 3校（250人） ・マイ・タイムライン作成支援 32件	B	AU13	交通安全防犯課	・地域防犯ボランティア・ステップアップ講座の開催（9～10月 4回） ・自主防犯活動用物品や自主研修会の講師料等の支援を実施。	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R4年度の実績	進捗評価	課コード	担当課	R5年度の実績	進捗評価
		相互理解の促進と意思疎通の円滑化の推進事業	地域共生社会の実現に向け、意思疎通に配慮が必要な要配慮者に関する相互理解の促進及び意思疎通の円滑化を推進する。	36	AB09	行政改革推進課	地域共生社会の実現に向け、意思疎通に配慮が必要な要配慮者に関する相互理解の促進及び意思疎通の円滑化を推進した。	B	AB09	行政改革推進課	地域共生社会の実現に向け、意思疎通に配慮が必要な要配慮者に関する相互理解の促進及び意思疎通の円滑化を推進した。	B
		国際理解・啓発事業	(公財)豊田市国際交流協会と連携し、地域の国際化のため、多様な国の言語や文化に関する関心・理解を深め、活動を実践できるイベントや講座を幅広い層を対象に開催する。	37	AW09	国際まちづくり推進課	①マイカントリーデー事業 世界の様々な国・地域の文化等を市民に広く紹介し、異文化理解を促進するための講座を開催 開催回数：2回 延べ参加者数：44人 ②国際理解推進事業 ・こども国際クラブ 市の国際化を担う子どもの国際感覚や、異なる文化的背景を持つ多様な人々に対して共感できる気持ちを育むための講座を開催 開催回数：15回 参加者数：15人(市内小学4年生から6年生までの児童) ・国際理解教育 市内の小・中・高等・特別支援学校や児童生徒が所属する団体に対し、国際分野に興味を持つきっかけとなり、関心を高めることができる事業を実施 開催回数：10回 延べ参加者数：584人 ③国際理解セミナー 国際分野への理解を深めるための参加体験型のセミナーやイベントを開催 開催回数：1回 延べ参加者：17人	B	AW09	国際まちづくり推進課	①マイカントリーデー事業 様々な文化的背景を持つ市民やグループが出身地の文化等を市民に紹介し、地域の相互理解及び多文化共生を推進する 開催回数：3回 延べ参加者数：95人 ②国際理解推進事業 ・こども国際クラブ 市の国際化を担う子どもの国際感覚や、異なる文化的背景を持つ多様な人々に対して共感できる気持ちを育むための講座を開催 開催回数：8回 参加者数：18人(市内の小学4年生から6年生までの児童) ・国際理解教育 市内の小・中・高等・特別支援学校等や児童生徒が所属する団体に対し、国際分野に興味を持つきっかけとなり、関心を高めることができる授業を実施 開催回数：9回 延べ参加者数：720人 ③国際理解セミナー 国際分野への理解を深めるための参加体験型のセミナーやイベントを開催 開催回数：4回 延べ参加者：66人	B
		市民活動相談事業	市民活動に関する多様な相談に対応する。また、活動場所としての施設を提供する。	37	AW01010	とよた市民活動センター	市民活動に関する多様な相談への対応、活動場所の提供を実施	B	AW01010	とよた市民活動センター	市民活動に関する多様な相談への対応、活動場所の提供を実施	B
		市民活動促進補助金(はじめの一歩部門)	市民活動を始めようとする団体や経営基盤の弱い団体に対し、補助金を交付する。	37	AW01010	とよた市民活動センター	10団体(1年目9団体、2年目1団体)に補助金を交付	B	AW01010	とよた市民活動センター	10団体(1年目8団体、2年目5団体)に補助金を交付	B
		シニアアカデミー(再掲1-2)	高齢者の市民活動や生きがいづくりを促進するための学び・相談・情報提供等の支援を実施する。	37	AW01010	とよた市民活動センター	※1-2掲載済	B	AW01010	とよた市民活動センター	※1-2掲載済	B
		プロボノプロジェクト(再掲1-2)	社会人によるボランティア(プロボノ)参加の場を創出し、市民活動団体が行う「共働によるまちづくり」活動を促進する。	37	AW01010	とよた市民活動センター	プロボノ15人と3団体をマッチングし、団体が抱える課題解決を実施	B	AW01010	とよた市民活動センター	プロボノ9人と3団体をマッチングし、団体が抱える課題解決を実施	B
		女性のライフプラン・キャリア形成支援事業(再掲1-2)	結婚や出産を機に活動していない女性の就労意欲や市民活動への参画意識を醸成するための相談・セミナー・交流会を開催する。	37	AW01020	とよた男女共同参画センター	女性のためのスキル&マインドアップセミナー「エクラ」を年間30回実施し、延べ294人参加した。 主に子育て等で離職中の女性を対象に女性のための学びとつながりの場の提供、自分らしい生き方の選択をするための意識の醸成、再活動や再就労に繋ぐことを目的に実施した。	B	AW01020	とよた男女共同参画センター	女性のためのスキル&マインドアップセミナー「élat(エクラ)」を年間25回実施し、延べ354人が参加。 様々な段階にいる女性を対象に、キャリア形成やマインドアップなどの学びと、つながりの場としての居場所提供を兼ねた講座を実施。	B
		ものづくり教育プログラム事業	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施する。	37	AW01030	ものづくりサポートセンター	教育プログラムを実施(57校)	B	AW01030	ものづくりサポートセンター	教育プログラムを実施(70校)	A
		クルマづくり究めるプロジェクト事業	子どもたちが、プロからクルマづくりを学び、挑戦する活動を自動車関連企業と連携して実施する。	37	AW01030	ものづくりサポートセンター	基礎コース6回、究めるコース6回、集大成企画コース13回、きんとうんコース19回実施。 参加者数：62人	B	AW01030	ものづくりサポートセンター	集大成企画コース19回、きんとうんコース19回実施 参加者数：49人	B
		わくわく事業	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助する。	37	AU01	地域支援課	268事業(うち新規46事業)を補助し、地域住民が主体的に地域の課題解決に取り組む事業を支援した。	B	AU01	地域支援課	312事業(うち新規72事業)を補助し、地域住民が主体的に地域の課題解決に取り組む事業を支援した。	B
		ブランド農産物担い手育成事業	里親農家とJAと市との共働事業である桃・梨専門コースを運営し、桃・梨栽培サポーターの養成と運用を行う。	37	AG14	農業振興課	・桃・梨専門コース(2年) 受講者：3期生2名 4期生2名(うち1名途中退所)	B	AG14	農業振興課	・桃・梨専門コース(2年) 受講者：4期生1名(R6.3月修了) 5期生2名	B
		農とのふれあい推進事業	農ライフ創生センターにおける家庭菜園向け初級農作物栽培技術研修及び市民農園等の運営支援等を実施する。	37	AG14 AG13	農業振興課 農政企画課	・農ライフ創生センター旬の野菜づくりコース(1年) 受講者：38名 ・市民農園運営支援事業 件数：2件 決算額：238,000円	B	AG14 AG13	農業振興課 農政企画課	・農ライフ創生センター旬の野菜づくりコース(1年) 受講者：37名 ・市民農園運営支援事業 件数：2件 決算額：300,000円	B
		鳥獣害対策事業	鳥獣害対策を行う農家や集落の支援及び有害鳥獣駆除の実施。また、人材育成や効果的・効率的な対策を研究する。	37	AG14	農業振興課	・集落ぐるみで行う柵の設置 18集落 ・集落獣害対策ベストマッチ事業の実施 8集落 ・補助従事者向け研修会の実施	B	AG14	農業振興課	・集落ぐるみで行う柵の設置 26集落 ・集落獣害対策ベストマッチ事業の実施 5集落 ・補助従事者向け研修会の実施	B

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R4年度の実績	進捗評価	課コード	担当課	R5年度の実績	進捗評価
1-3 市民活動を 始めやすい 環境の整備	(1) 活動を始めるための支援事業の充実	河畔環境整備支援事業	河畔環境保全活動を行う水辺愛護会などの市民団体が、持続的かつ自発的な活動が展開できるよう支援する。	37	AH12010	矢作川研究所	・作業用道路修繕 ・支援HPの運営 ・検討部会の運営 ・植生調査、管理活動計画図の作成と実践支援	B	AH12010	矢作川研究所	・作業用道路修繕 ・支援HPの運営 ・検討部会の運営 ・植生調査、管理活動計画図の作成と実践支援	B
		ふるさとの川づくり 事業	地域住民の手による身近な小川の自然再生を通して地域の 自然への愛着を醸成し、市民と行政が共働で自然豊かな川づくりを実施する。	37	AH12010	矢作川研究所	・浚渫工事(広沢川) ・地域住民による川づくりの支援 (広沢川)	B	AH12010	矢作川研究所	・浚渫工事(広沢川) ・地域住民による川遊び体験会の支援 (広沢川)	B
		地域内移動手段確保 事業	地域住民と市の共働により地域内を走るバス等を運行し、地域特性や需要に応じた交通サービスを提供する。	37	AJ02	交通政策課	・地域バスの運行：10地域 ・地域タクシーの運行：4地域 ・住民が主体となった移動の仕組みに対する支援策を作成	B	AJ02	交通政策課	・地域バスの運行：10地域 ・地域タクシーの運行：4地域 ・住民主体による輸送への財政的支援：2団体 (高美町、水源町)	B
		民有地緑化促進事業	市民や事業者との共働により民有地の緑化を促進し、うるおいをもたらす緑あふれる空間を創出す	38	AJ23	公園緑地つかう課	私有地における緑地の整備面積 (市支援分) ①都心0㎡ 私有地における緑地の整備面積 (市支援分) ②都心以外256㎡	C	AJ23	公園緑地つかう課	私有地における緑地の整備面積 (市支援分) ①都心0㎡ 私有地における緑地の整備面積 (市支援分) ②都心以外490㎡	C
		地域子どもの居場所づくり事業	子どもたちが自主的に活動する場、地域の子どもの同士や大人が交流する機会を提供し、地域全体で子どもの育成を支援する。	38	AQ01	こども・若者政策課	・42か所で実施 (自治区型13か所、地域学校共働本部型27か所、その他2か所)。うち地域学校共働本部型において5校新規開設。 ・実施日 (R3年度：5,145日→R4年度：5197日) ・参加者数 (R3年度：56,525人→R4年度：64,036人)	A	AQ01	こども・若者政策課	・40か所で実施 (自治区型11か所、地域学校共働本部型28か所、その他1か所)。 ・実施日 (4851日) ・参加者数 (59,433人)	B
		とよたエコフルタウン推進事業	SDGsの取組や先進技術実証の見せる化、新しいサービスの体感・ニーズの集約を実施する。	38	AN07	未来都市推進課	・SDG s 情報の発信拠点として「耕Life SDGsマルシェ」「楽しく学ぼう! Play SDGs! エコフルタウンで夏休み」など市民向けイベントを15回開催 ・とよたSDGsパートナーをはじめとする事業者と共働して「とよたSDGsグッドプラクティス投票会」「とよたSDGsフェスタ in T-FACE」など企業向けの情報発信イベントを6回開催 R04年度 来場者数：24,614人	B	AN07	未来都市推進課	・SDG s 情報の発信拠点として「サステナブルマルシェ」「サンクスフェスタ」など市民向けイベントを15回開催 ・とよたSDGsパートナーなどと連携し、「とよたSDGsフェスタ in T-FACE」など企業向けの情報発信イベントを6回開催 R05年度 来場者数：23,124人	B
		Jリーグホームタウン推進事業	豊田スタジアムでの名古屋グランパスのホーム公式戦開催に合わせ、来場者を取り込んだ取組や応援気運を盛り上げる自主的な取組に関する支援・調整を実施する。	38	AW10	スポーツ振興課	・開幕応援事業やグラ30周年の盛り上げでコスプレやベデストリアンデッキ等まちなかでグランパスを日常的に感じられる装飾 (駅前に三角看板、等身大パネル設置、のぼり、選手バナーの設置) を実施 ・開幕応援事業として駅前広場でパブリックビューイングを実施	B	AW10	スポーツ振興課	・開幕応援事業として、豊田市駅周辺に「選手の写真入り街頭バナー」や「横断幕 (新エンブレム入り)」、「トヨタヴェルブリッツ共同フラッグ」等を設置した。また、花壇装飾においては新エンブレムのデザインに更新し、グランパスを日常的に感じられる装飾を実施した。	B
		郷土学習推進事業	市民や団体、地域と共働により、郷土の歴史・文化財を子どもたちに継承する取組を学校と連携して実施する。	38	AW11	博物館準備課	・とよた歴史マイスターの認定・活動の支援 (認定証70人・参加活動延43人) ・郷土学習スクールサポートの実施 (利用延人数30,870人、利用延学校数372校) ・歌舞伎伝承館での講座開催 (13件・11,370人、Web2件・再生回数505回 (3/31現在)) ・博物館周知事業 (イベント4回、2,854人)	B	AO13	博物館	・自然標本あつめるプロジェクト・記憶あつめるプロジェクト (38回 参加延人数601人) ・とよはくパートナーの募集及び研修 (個人パートナー167人、団体パートナー73団体、研修延べ14回) ・歌舞伎伝承館事業開催 (8件・2,639人)	B
		市民によるアートプロジェクト推進事業 (再掲1-2)	市民主体の文化芸術活動・発表の場を創出し、文化芸術に関わる人材の発掘・育成を促進する。	38	AW02	文化振興課	●市民参加型のアートイベントの開催 「とよたまちなか芸術祭」/2022年10月 まちなかの10会場 (豊田総合館、Hotel Aunties、T-FACE等) 市民アートプロジェクトメンバー出身のディレクター1名、アシスタントディレクター1名と公募による「とよたまちなカラボ研究生」5名を中心に、昨年度より規模を拡大したアートイベントを創り上げた (出展者数：56組、ゲスト8組/来場者数：4,483人) ●アートに触れる機会の実証 (移動型拠点) を実施 「ぶらっとアートセンター」/豊田市内各所 (3回・3か所) 豊田市内の文化スポットや活動者、イベントをアートサポーターとともに訪問し、新たな交流や出会いのきっかけを創出 (交流人数：150人) ●豊田独自の文化事業の集約・発信 「TAP magazine」 市民ライターとの運営体制を継続 (掲載記事数：60件、リーチ数：22,286回/市民ライター：5名) ※市民アートプロジェクトメンバー登録数 (201人)	B	AW02	文化振興課	・応募数 15件 ・採択事業 8件 ※デカスコース7件と、デカチャレコース1件を採択。実施した内容が秀逸だったデカスコースのプロジェクトには「デカした賞」「ぶちデカした賞」として賞金を上乗せした。 ・参加者数 (オンライン視聴者含む) 2,905人 ・企画者が自ら考え、創意工夫を凝らしながらアートプロジェクトに取り組むことをしっかり支援した。 ・デカスプロジェクトが10年目を迎えたため「とよたデカスプロジェクト10周年記念祭」を開催し、新たな企画等に繋がるよう、これまでの採択者同士の交流の場を設けた。(参加者：48人)	B
		重層的支援体制推進事業	高齢や障がい、子ども、困窮など対象や年代を限定しない相談支援や、社会参加の支援、住民同士が支え合える地域づくりを実施する。	38	AX03	福祉総合相談課	福祉の相談窓口や社協CSWによる個別な相談支援、地域住民同士が支えあえる地域づくりを実施。地域との情報交換や地域づくり実現に向けた地域との打合せ等を実施。	B	AX09	よりそい支援課	福祉の相談窓口や社協CSWによる個別な相談支援、地域住民同士が支えあえる地域づくりを実施。地域との情報交換や地域づくり実現に向けた地域との打合せ等を実施。	B
成年後見制度利用促進事業	成年後見制度の利用につながる相談体制の構築や、成年後見制度や権利擁護支援の活動に携わる人づくり・環境づくり等を実施する。	38	AX03	福祉総合相談課	・豊田市成年後見・法福連携推進協議会を3回開催し、豊田市成年後見制度利用促進計画中間見直しの実施及びとよた市民後見人養成講座のリニューアルを行った。	B	AX09	よりそい支援課	豊田市成年後見・法福連携推進協議会を3回開催し、身寄りのない人の支援の在り方の検討及び社会福祉連携推進法人の活動支援を行った。	B		
きらきらウエルネス地域推進事業	地域の健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進す	38	AY04	地域保健課	・各地域での意見交換会等の実施、地域健康づくり事業計画の作成：1地区	B	AY07	健康づくり応援課	・各地域での意見交換会等の実施、地域健康づくり事業計画の作成：0地区	B		

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R4年度の実績	進捗評価	課コード	担当課	R5年度の実績	進捗評価
2-1 組織力強化 を支援する 仕組みの整備		元気アップ事業	高齢者の体力づくりや認知症予防を目的とした教室を実施し、介護予防活動が自主的に継続できるように支援する。	38	AY04	地域保健課	・元気アップ教室の実施：11か所 ・自主活動グループの支援：199グループ	C	AY07	健康づくり応援課	・元気アップ教室の実施：10か所 ・自主活動グループの支援：199グループ	C
		高齢者の住宅防火促進事業	各種の福祉関係者と連携し、高齢者宅の訪問時等に火災予防について啓発してもらうことで高齢者の火災による被害を軽減する。	38	BA03	予防課	社会福祉協議会や地域包括支援センター等と連携し、「高齢者の火災予防対策について」のチラシ約3,600部配布及び、利用者へ防火対策に関する声かけを実施した。	B	BA03	予防課	社会福祉協議会等の福祉関係者と連携し、福祉関係者の会議や出前講座等を通して「高齢者の火災予防対策について」のチラシ約5,000部の配布及び高齢者へ直接、防火対策に関する声掛けを実施した。	B
		応急給水施設整備事業	災害時の応急給水活動を地域と共働で実施するため、拠点となる応急給水施設を整備する。	38	CA15	(上下水) 企画課	・災害拠点給水施設改修・新設工事：3施設（第2京ヶ峰配水場、篠原配水場、川田水源送水場）	B	CA15	(上下水) 企画課	災害拠点給水施設改修・新設：3施設（水別配水場、旭高原第1中継所、大草配水場） 飲料用循環式耐震性貯水槽新設：2施設（稲武地区、旭地区）	B
		コミュニティ・スクール推進事業	中学校区の単位で小・中学校の連携及び地域ぐるみの教育を効果的に実施するコミュニティ・スクールを推進する。	38	KC03	学校教育課	・コミュニティ・スクール推進委員会を年4回開催し、リーフレットやポスターを作成してコミュニティ・スクールの推進を図った。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとりながら、コミュニティ・スクール連絡会議を開催することができた。会議では、児童生徒の現状をふまえ、目指す子ども像について共通理解を図り、今後の活動について協議することができた。	B	KC03	学校教育課	・コミュニティ・スクール推進委員会を年4回開催し、リーフレットやポスターを作成してコミュニティ・スクールの推進を図った。 ・コミュニティ・スクール連絡会議を開催し、児童生徒の現状をふまえ、目指す子ども像について共通理解を図るとともに、今後の活動について9か年を見通して協議することができた。	B
	(2) 利用しやすい活動場所の提供	市民活動見せまSHOW	市民活動を知ってもらうため、パDESTリアンデッキ等の まちなかを通行する人に向けて、発表、出展、ワークショップ等を開催する。	39	AW01010	とよた市民活動センター	パDESTリアンデッキ等で活動団体の発表会を開催	B	AW01010	とよた市民活動センター	パDESTリアンデッキ等で活動団体の発表会を開催	B
		活動スペースの貸出	活動スペース（ホール・研修室・会議室・活動室（2室）・作業室）の貸し出しや、オンライン活動のサポート等を行い、市民活動団体を支援する。	39	AW01010	とよた市民活動センター	活動スペースの貸し出しを実施（オンライン活動サポートはニーズがなく未実施）	B	AW01010	とよた市民活動センター	活動スペースの貸し出しを実施。オンライン活動サポートとして、wifiルーターを貸出を実施	B
		交流館運営事業	豊田市交流館運営基本方針に沿った交流館運営を実施し、地域の拠点施設として、市民活動の促進や市民の活躍を支援する。	39	AW01	市民活躍支援課	・交流館部屋利用件数72,675件	B	AW01	市民活躍支援課	・交流館部屋利用件数80,987件	B
		まちなか広場空間活用推進事業	中心市街地の広場（公共的空間）を多く活用させる取組を展開し、活用者の発掘や育成を行いながら、にぎわいを創出する。	39	AG02	商業観光課	あそべるとよたプロジェクト等の公共的空間活用事業を民間主導で予定通り実施した。 <R4利用実績> 利用件数：193件 利用団体数：60団体 内、新規団体数：15団体	B	AG02	商業観光課	あそべるとよたプロジェクト等の公共的空間活用事業を民間主導で予定通り実施した。 <R5利用実績> 利用件数：122 利用団体数：30 内、新規団体数：8	B
	(1) 人材や運営に関する支援策の充実	運営力向上支援事業	組織運営に関する各種セミナーを開催する。また、プロボノを活用した組織運営の支援や活動現場に出向いた支援をする。	40	AW01010	とよた市民活動センター	講座実施	B	AW01010	とよた市民活動センター	組織運営講座を実施	B
		プロボノプロジェクト（再掲1-3）	社会人によるボランティア（プロボノ）参加の場を創出し、市民活動団体が行う「共働によるまちづくり」活動を促進する。	40	AW01010	とよた市民活動センター	※1-3掲載済	B	AW01010	とよた市民活動センター	※1-3掲載済	B
		新しい生活様式（ニューノーマル）への対応	新しい生活様式（ニューノーマル）における活動事例紹介や、有益な情報を提供する。	40	AW01010	とよた市民活動センター	未実施	E	AW01010	とよた市民活動センター	施設利用者に、wifiルーター貸出を実施	B
		先進移動技術等実証事業	規制緩和や各種支援事業を通じた先進技術実証の推進及び 地域課題・市民生活向上に資する「移動サービス」の担い手育成・支援	40	AN07	未来都市推進課	・C+podを活用したカーシェア実証	B	AN07	未来都市推進課	・C+podを活用したカーシェア実証 ・C+walkを活用した先進モビリティのレンタル事業「まち+モビ」の実施	B
犯罪のないまちづくり活動支援		構成員全体のスキルアップを狙った講座や研修会の実施、 自主防犯活動団体の活動を支援する。	40	AU13	交通安全防犯課	・地域防犯ボランティア・ステップアップ講座の開催（9～10月4回）都心部での開催に加え、山村地域の会場でも開催することで、より多くの地域で活動する市民に受講しやすい環境を整えた。 ・自主防犯活動用物品や自主研修会の講師料等の支援を実施。	B	AU13	交通安全防犯課	・地域防犯ボランティア・ステップアップ講座の開催（9～10月4回） ・自主防犯活動用物品や自主研修会の講師料等の支援を実施。	B	
	自主防犯活動支援事業	自主防災リーダーの育成や自主防災訓練の支援、補助金交付など、自主防災組織の活動を支援する。	40	AU14	防災対策課	・自主防災リーダー養成講座開催（2回） 自主防災リーダー159人育成 ・自主防災訓練支援 153回 ・自主防災事業補助金執行 合計13,422,000円 ・豊田市自主防災会役員会（3回） ・豊田市自主防災会定期総会・研修会（1回/対面） ・豊田市自主防災会事例発表会（1回/対面）	B	AU14	防災対策課	・自主防災リーダー養成講座開催（2回） 自主防災リーダー145人育成 ・自主防災訓練支援 177回 ・自主防災事業補助金執行 合計12,167,000円 ・豊田市自主防災会役員会（2回） ・豊田市自主防災会定期総会（1回/書面） ・豊田市自主防災会研修会（1回/対面） ・豊田市自主防災会事例発表会（1回/対面）	B	

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R4年度の実績	進捗評価	課コード	担当課	R5年度の実績	進捗評価
		子ども食堂支援事業	子ども食堂の相談支援及び継続的な運営確保等について社会福祉協議会へ委託。また、運営費用のうち衛生管理上必要な経費を補助する。	40	AX03	福祉総合相談課	子ども食堂の相談支援及び継続的な運営確保等について社会福祉協議会へ委託。子ども食堂の新規立ち上げ支援に関する相談支援や継続的な運営に関する相談支援を実施。運営費用のうち、衛生管理上必要な経費補助の実施。相談件数：504件	B	AX09	よりそい支援課	子ども食堂の相談支援及び継続的な運営確保等について社会福祉協議会へ委託。子ども食堂の新規立ち上げ支援に関する相談支援や継続的な運営に関する相談支援を実施。運営費用のうち、衛生管理上必要な経費補助の実施。相談件数：302件	B
		地域スポーツ支援事業	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動を様々な点から支援することで、身近な地域でのスポーツ機会を創出する。	40	AW10	スポーツ振興課	・地域スポーツクラブについては、豊田市スポーツ協会と連携した育成支援事業や、各クラブの教室事業を推進するための補助金事業等を実施 ・スポーツ推進委員については、スキルの向上を図る研修会を実施	B	AW10	スポーツ振興課	・地域スポーツクラブについては、豊田市スポーツ協会と連携した育成支援事業や、各クラブの教室事業を推進するための補助金事業等を実施 ・スポーツ推進委員については、スキルの向上を図る研修会を実施	B
		スポーツボランティアの活動促進事業	スポーツボランティアとよたの事務局を立ち上げ、ボランティアによるおもてなし事業を実施する。	40	AW10	スポーツ振興課	・スポーツボランティアとよたへの運営委託を通じて、ボランティアの活動機会が充実し、登録者数も拡大 ・その結果、持続的な活動に必要なノウハウや人材等が概ね整備されたことから、令和5年度から自立した活動にシフト	B	AW10	スポーツ振興課	・スポーツボランティアとよたへのおもてなし事業委託を通じて、市主催等のイベントにおけるボランティア等を実施。 ・令和5年度から自立した活動となり、ますます会員数やボランティア活動が増加した。	B
(2) 資金確保に関する支援策の拡充		市民活動促進補助金 (活動ステップアップ部門・新規事業チャレンジ部門)	市民活動団体が、活動の継続・活性化を目指したり、多様化する課題に取り組む新たな事業を行う場合に補助金を交付する。	40	AW01010	とよた市民活動センター	活動ステップアップ部門2団体に補助金を交付	B	AW01010	とよた市民活動センター	新規事業チャレンジ部門1団体に補助金を交付	B
		助成金情報の提供	市民活動団体へ各種助成金情報を提供する。	40	AW01010	とよた市民活動センター	市民活動情報サイト等に助成金情報を随時掲載	B	AW01010	とよた市民活動センター	市民活動情報サイト等に助成金情報を随時掲載	B
(1) 多様な主体の交流の場づくり		とよた活動応援ネットワーク・中間支援コア会議	多様な主体を対象とした意見交換会等の交流ができる機会を提供する。	41	AW01010	とよた市民活動センター	ボランティア情報や中間支援組織の連携に関する情報等の意見交換会を実施(計6回)	B	AW01010	とよた市民活動センター	ボランティア情報や中間支援組織の連携に関する情報等の意見交換会を実施(計6回)	B
		テーマ型団体と地縁組織の交流会	テーマ型と地縁組織の交流する機会を提供する。	41	AW01010	とよた市民活動センター	交流館と市民活動センター相互理解のための研修実施	B	AW01010	とよた市民活動センター	交流館と市民活動センター相互理解のための研修実施	B
		市民活動体験支援事業 (再掲1-2)	誰もが市民活動を知り、参加体験ができる取組を実施する。	41	AW01010	とよた市民活動センター	※1-2掲載済	B	AW01010	とよた市民活動センター	※1-2掲載済	B
		まちなか広場空間活用推進事業 (再掲2-1)	既存の公共空間を利用して、将来のまちなか広場の活用アイデアや担い手を発掘・育成する。	41	AG02	商業観光課	あそべるとよたプロジェクト等の公共的空間活用事業を民間主導で予定通り実施した。 <R4利用実績> 利用件数：193件 利用団体数：60団体 内、新規団体数：15団体	B	AG02	商業観光課	あそべるとよたプロジェクト等の公共的空間活用事業を民間主導で予定通り実施した。 <R5利用実績> 利用件数：122 利用団体数：30 内、新規団体数：8	B
	共働事業提案制度	市民活動主体の事業提案を共働で事業実施するための制度の運用、研修を実施する。	41	AW01	市民活躍支援課	共働によるまちづくり推進のため、職員向けの研修を実施。具体的には、共働推進担当者・責任者を選任し、共働に関する研修をEラーニングで実施。また、入庁後4年目の職員に対し、住民との市民団体との共働の学びとして、フィールドワークを中心としたパートナーシップ研修を実施。	B	AW01	市民活躍支援課	共働事業提案制度の事業推進のため、職員向けの研修を実施。具体的には、共働推進担当者・責任者を選任し、共働に関する研修をEラーニングで実施。また、入庁後4年目の職員に対し、住民との市民団体との共働の学びとして、フィールドワークを中心としたパートナーシップ研修を実施することにより、共働への理解を深めた。	B	
	交流館と地域学校共働本部の連携強化	学校側のニーズと交流館等がもつ地域資源情報を共有し、地域の特性に合わせて連携を推進する。	41	AW01 KC03	市民活躍支援課 学校教育課	・地域コーディネーター研修会の中で、交流館との連携について周知を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、交流館祭等が縮小される等したため、交流館と連携した活動を活発に行えなかった地域学校共働本部があった。	C	AW01 KC03	市民活躍支援課 学校教育課	・地域コーディネーター研修会の中で、交流館との連携について事例をもとに周知を図った。 ・交流館祭や交流館行事への中学生ボランティアの派遣を行った。 ・交流館を利用する団体とのつながりをもてた地域学校共働本部があった。	B	
	地域学校共働本部推進事業	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織の活動推進する。	41	KC03	学校教育課	・地域コーディネーター研修会を動画配信で行い、令和5年度からの学校運営協議会設置に伴う各学校の地域学校共働本部の役割について周知を図った。 ・地域学校共働本部が主体となり、学校の校外学習等の行事に地域のボランティアスタッフが参加するなど、学校と地域との連携を図っている。 ・地域学校共働本部推進アドバイザーの助言のもと、「居場所づくり」「元気っ子クラブ及びスポーツ・文化クラブ」「未来塾」「土曜学習」等、地域の特色を生かした活動を行うとともに、活動をまとめて教育誌に寄稿するなど広報活動も行った。 ・部活動の地域移行に向けて、令和5年度からの全校実施に向け、令和4年度は6校をモデル地区として実施した。	B	KC03	学校教育課	・地域コーディネーター研修会を動画配信で行い、各学校の学校運営協議会における地域学校共働本部の役割について周知を図った。 ・地域学校共働本部が主体となり、学校の校外学習等の行事だけでなく、通常の授業の補助へも地域のボランティアスタッフを募集するなど、学校と地域との連携を図っている。 ・地域学校共働本部推進アドバイザーの助言のもと、「居場所づくり」「元気っ子クラブ及びスポーツ・文化クラブ」「未来塾」「土曜学習」等、地域の特色を生かした活動を行った。 ・部活動の地域移行を全校で実施した。ほぼすべての部活動で地域指導者による活動を行えるようになった。	B	
	地域課題解決事業	地域の意見を市の予算に反映し、地域と共働で課題に対応する。	41	AU01	地域支援課	67事業(うち新規17事業)を実施し、地域と共働で地域課題解決に向けた取組を行った。	B	AU01	地域支援課	82事業(うち新規33事業)を実施し、地域と共働で地域課題解決に向けた取組を行った。	B	

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R4年度の実績	進捗評価	課コード	担当課	R5年度の実績	進捗評価
3-1 効果的な課題解決に向けた多様な主体の共働の仕組みづくり	(2) 多様な主体との共働事業の推進	企業・大学と連携したスポーツ支援体制の構築	企業・大学と連携したスポーツ教室等を継続して開催しながら、企業・大学の優れた指導者や環境を活用できる仕組みを構築する。	41	AW10	スポーツ振興課	・トヨタ自動車、中京大学と連携し、中学生向けに豊田スポーツアカデミー（ラグビー、野球、女子バスケットボール）を実施 ・トヨタ自動車、中京大学、JFAと連携した夢の教室を実施 ・中京大学と連携した小学生向けのスポーツ教室を実施 ・中京大学、地域スポーツクラブ、豊田市スポーツ協会と連携した小学生向けの「走り方教室」を実施 ・トヨタ自動車と地域スポーツクラブが連携したホームチーム地域交流事業を実施 ・トヨタ自動車と連携したパラスポーツ特別授業を実施	A	AW10	スポーツ振興課	・トヨタ自動車、中京大学と連携し、中学生向けに豊田スポーツアカデミー（ラグビー）を実施 ・トヨタ自動車、中京大学、JFAと連携した夢の教室において、中学校まで事業を拡大 ・中京大学と連携した小学生向けのスポーツ教室を実施 ・『とよたスポーツ体験講座』として、中京大学、地域スポーツクラブ、市スポーツ協会と連携した小学生向けの「走り方教室」、トヨタ自動車と連携した「投げ方教室」及び「パラスポーツ特別授業」を実施 ・トヨタ自動車と地域スポーツクラブが連携したホームチーム地域交流事業を実施	A
		市民との共働による 不法投棄監視活動事業	市民・企業ボランティアである不法投棄パトロール隊との 共働により不法投棄を早期発見・回収し、新たな不法投棄を監視及び抑	41	AE09	清掃業務課	不法投棄パトロール隊との協働により、不法投棄物の収集及び抑止を実施済 不法投棄パトロール隊 205 団体 6, 302 人	B	AE09	清掃業務課	不法投棄パトロール隊との協働により、不法投棄物の収集及び抑止を実施済 不法投棄パトロール隊 210 団体 6, 105 人	B
		SDGs未来都市推進事業	とよたSDGsパートナーとの連携事業及び活動支援を行い、SDGs未来都市の取組事例の国内外への発信する。	41	AN07	未来都市推進課	豊田市SDGs認証制度の設計・運営体制の構築を完了 とよたSDGsパートナー登録数：482件（2023年3月末時点） 豊田市SDGs研修カード「とよたSDGsマスター」完成 連携事業：20件（パートナー多数と連携したT-FACEにおけるPRイベントなど） SDGs関連プロモーション事業：6件	B	AN07	未来都市推進課	豊田市SDGs認証制度参加事業者数：100者（うち認証取得者数：87者） とよたSDGsパートナー登録数：255件（2024年3月末時点） 豊田市SDGs研修カード「とよたSDGsマスター」公認ファシリテーター認定数：56名 連携事業：21件（パートナー多数と連携したT-FACEにおけるPRイベントなど） SDGs関連プロモーション事業：10件	B
		地域エネルギー活用モデル構築事業	環境負荷の少ない再生可能エネルギーの普及を促進するとともに、エネルギーの地産地消モデルを構築し、地域課題解決に向けたエネルギーの有効活用する。	41	AN07	未来都市推進課	・地域新電力と連携した実証により、エネルギーの地産地消及び小売電気事業による地域課題の解決モデルの検証を実施	B	AN07	未来都市推進課	・地域新電力と連携した実証により、エネルギーの地産地消及び小売電気事業による地域課題の解決モデルの検証を実施	B
		外国人市民の住みやすさ向上事業	外国人市民の意見を市の取組に反映させるとともに、外国人への効果的な情報伝達体制を確立する。	41	AW09	国際まちづくり推進課	①とよたフレンズ制度 多文化共生に関する事業や行政情報発信等に協力する個人又は団体を「とよたフレンズ」として認定し、多文化共生分野における情報発信を強化 認定数：1人及び6団体 ②外国人の意見を聴く会 市の取組に対する外国人市民の意見や生活の困り事等を聴くための会を開催 開催数：1回	B	AW09	国際まちづくり推進課	①とよたフレンズ制度 とよたフレンズに認定した団体に対し以下を実施 ・ラリー関連事業など市の情報を発信、コミュニティ内周知（6回） ・第9次総合計画市民参画の取組として、意見交換を実施（1回） ・外国人向け防災講座を実施、コミュニティ内の情報共有を依頼（1回） ②外国人の意見を聴く会 ・第9次総合計画市民参画の取組として、意見交換を実施（1回）【再掲】	B
		総合的な認知症施策推進事業（早期発見と社会参加）	認知症の早期発見・対応と、認知症の人がそれぞれの個性に合わせたボランティアや就労などの場へ社会参加ができる仕組みの構築する。	42	AX06	高齢福祉課	・警福連携等による早期発見の対応【チラシ配布17,849枚】 ・社会参加支援研修会の実施【参加者63名】 ・地域包括支援センターにおける社会参加支援のためのマッチングの実施【累計21か所】 ・社会参加支援に係る企業等へのアドバイザー派遣の実施【7回】 ・認知症の人の本人発信支援（ピアサポート活動）【2回】	B	AX06	高齢福祉課	・警福連携等による早期発見の対応【チラシ配布10,289枚】 ・社会参加支援研修会の実施【参加者40名】 ・地域包括支援センターにおける社会参加支援のためのマッチングの実施【18か所】 ・社会参加支援に係る企業等へのアドバイザー派遣の実施【4回】 ・若年性認知症等の人の社会参加支援（プラットフォーム）におけるコーディネートの実施【17件】 ・認知症の人の本人発信支援（ピアサポート活動）【4回】	B
		総合的な認知症施策推進事業（支援チーム）	認知症の人等の支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを構築し、支援チームとして共生の地域づくりを	42	AX06	高齢福祉課	・認知症サポーター養成講座等の実施【認知症サポーター養成講座受講者2,160人(見込)、ステップアップ講座受講者190人】 ・支援チーム研修会の実施【参加者19人】 ・認知症サポーター養成講座等におけるあいち電子申請・届出システムの活用実施	B	AX06	高齢福祉課	・認知症サポーター養成講座等の実施【認知症サポーター養成講座受講者2,588人(見込)、ステップアップ講座受講者230人】 ・認知症サポーター等登録制度の利用者数【利用者141人】	B
		3-2 効果的な課題解決に向けた多様な主体の共働の仕組みづくり	(1) 中間支援組織等によるコーディネート機能の充実	とよた活動応援ネットワーク・中間支援コア会議（再掲3-1）	多様な主体を対象とした意見交換会等の交流できる機会を提供する。	42	AW01010	とよた市民活動センター	※3-1掲載済	B	AW01010	とよた市民活動センター
市民の活躍機会のコーディネート	交流館をはじめとした中間支援組織による市民の活躍機会のコーディネートを実施する。			42	AW01	市民活躍支援課	・交流館におけるコーディネート対応件数408件	B	AW01	市民活躍支援課	・交流館におけるコーディネート対応件数538件	B
ボランティアセンターとの連携	各ボランティアセンターと連携し、市民活動をマッチングする。			42	AW01010	とよた市民活動センター	トヨタ自動車・トヨタ紡織等のボランティアセンターと連携し、プロボプロジェクトを実施	B	AW01010	とよた市民活動センター	トヨタ自動車ボランティアセンターと連携し、プロボプロジェクトを実施	B

※進捗評価： A=予定以上 B=予定通り C=遅れている D=ほとんど進まず E=未実施

施策	取組	事業名	内容	掲載頁	課コード	担当課	R4年度の実績	進捗評価	課コード	担当課	R5年度の実績	進捗評価
		地域資源マップ（再掲1-1）	地域に点在する集いの場の情報を集約した情報展開ツールを作成し、市民活動等のコーディネートを実施する。	42	AX06	高齢福祉課	・地域に点在する集いの場の情報を集約し、活動場所や内容を掲載したデジタルマップを作成。 ・デジタルマップを活用して、地域包括支援センターの職員等による高齢者の集いの場へのコーディネートを実施。 【コーディネート件数：22件、参加件数：7件】	B	AX06	高齢福祉課	・作成したデジタルマップを活用し、地域包括支援センターの職員等による高齢者の集いの場へのコーディネートを実施 【コーディネート件数：194件 参加件数：13件】	B
		交流コーディネート 事業	おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信する。	42	AN01	企画課	・コーディネート件数50件の実績であった。※年度目標値は概ね50件 ・主な内容は、企業・労組を対象としたCSR事業のマッチング22件、共同作業の実施が困難な小規模高齢化集落へのボランティア派遣7件の実績があった。	B	AN01	企画課	・都市部企業、大学、団体等と山村地域のマッチング・コーディネートを25件実施。※年度目標は25件 ・さらに共同作業の実施が困難な小規模高齢化集落へのボランティア派遣を7地域（計10回）実施。 ・新たに「とよたの山里応援隊登録制度」を創設し、山村地域でのボランティア人材を確保した。（69名、1団体登録）	B
		子どもの学習支援事業	経済的理由等で学習環境が整っていない子どもへ、ボランティア等による学習支援や生活習慣の改善など世帯全体の生活支援を実施する。	42	AX03	福祉総合相談課	市内6か所にて集合型学習支援・市内2か所にて訪問型学習支援を実施した。学校で出た宿題をみる等の基礎的な学習の支援・普段の家庭や学校生活の相談に乗る支援を行った。 ・利用者（集合型）：101名 ・利用者（訪問型）：9名 ・総実施回数（集合型）：270回 ・総実施回数（訪問型）：216回	B	AX09	よりそい支援課	市内6か所にて集合型学習支援・市内2か所にて訪問型学習支援を実施した。学校で出た宿題をみる等の基礎的な学習の支援・普段の家庭や学校生活の相談に乗る支援を行った。 ・利用者（集合型）：104名 ・利用者（訪問型）：6名 ・総実施回数（集合型）：272回 ・総実施回数（訪問型）：144回	B